

Contents

巻頭言 これからの理科教育をリードする CST に期待すること

Topic 平成 24 年度 福井 CST 認定証授与式を挙りました

Pick Up! 第 2 回 福井 CST シンポジウムを開催しました

受講者だより 理数系教員養成構築プログラム成果報告会および CST の集い

Info 平成 25 年度 中級・上級 CST 養成プログラム受講者 募集

巻頭言 これからの理科教育をリードする CST に期待すること

福井県教育庁 義務教育課長 上野 弘

本県におけるサイエンス教育は、時代の進展に対応する教育として位置づけられています。しかし、国際的な学力調査 (TIMSS 等) や本県の学力調査において、児童生徒の理数教科に対する有用感が低いこと、さらには小学校から中学校へと学年が上がるにつれ理科が嫌いになる子どもが増えることが明らかになってきました。

理数教科に興味・関心を持つ子どもたちを増やすためには、子どもたちの知的好奇心や探究心を刺激する授業を行うことが重要です。そのためには、指導者である教師の力量を上げることが肝心であります。常に授業を省みて指導法の改善に努めたり、先端の科学技術に敏感にアンテナを張って授業に取り入れたりして、積極的に研さんと修養を積んでいこうとする姿勢が必要です。

言うまでもなく、理科の学習では問題解決の活動を重視します。子どもたちが問題解決の過程を通して「比較したり」「関係付けたり」「条件を制御したり」「推論したり」「分析・解釈したり」しながら、科学的な見

方や考え方を習得し問題解決能力を身に付けていきます。一方、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」等の科学的な概念の構造化を図り、その定着を求めていくことも必要になります。子どもの能力を育成させるための具体的な手だてを講じ、抽象的な概念を形成していくために、指導者には深い教材理解に裏打ちされた授業の構成力や、的確に生徒の理解の状態を把握する分析力などが求められます。

各教育委員会や学校の先生方の理解と協力のもと、県内 7 箇所の拠点校を中心にコアサイエンスティーチャーによる研究会や講習会が開催されています。この実践は、参加者一人一人の資質が磨かれることで地域全体の理科指導力が向上し、地域の子どもの学力へと還元され、さらには県全体の学力向上へとつながっていく大きな流れとなるものです。CST の皆さんには、本事業の趣旨を十分に理解し意欲的に関わっていただくことで、まさしくコア (中心) となって活躍し、本県の教育力の向上に大きく寄与されることを期待してやみません。



Topic

平成 24 年度 福井 CST 認定証授与式を挙りました

～新たに 13 名が CST 認定・養成プログラム修了認定を受けました～

平成 25 年 3 月 22 日 (金)、福井大学 文京キャンパスにて、第 2 回福井 CST 認定証授与式を挙りました。認定を受けたのは、1～3 年間にわたる CST 養成プログラムを修了した、初級 CST 受講者 (大学卒業生) 4 名、中級 CST 受講者 (大学院生) 3 名、上級 CST 受講者 (現職小・中学校教員、福井県教育研究所 研究員) 6 名の計 13 名です。

CST 所属校は理数教育支援拠点 (配置校) として指定され、所属校を拠点に地域での理数教育の推進役となります。現在、平成 24 年度認定された 10 名の CST が福井県内の各地で活躍しています。

また、地域支援拠点 (小学校) や CST 養成 (実施・連携・協力) 機関と連携をとりながら、地域の理科教育支援のために様々な場面で活躍していきます。

今後も CST による活動および CST 養成・支援事業にご期待ください。



平成 24 年度 福井 CST 認定者

初級 CST (福井)

養成プログラム修了
養成プログラム修了
養成プログラム修了
養成プログラム修了

河原 祥太
佐々木 直広
新谷 梓
廣瀬 俊則

上級 CST (福井)

越前市武生東小学校
坂井市立三国中学校
福井県教育研究所
福井大学教育地域科学部
附属中学校
福井市明道中学校
あわら市立芦原中学校

垣内 浩
月僧 秀弥
佐々木 恭介
永廣 裕子
松山 明人
横山 敏史

中級 CST (福井)

養成プログラム修了
養成プログラム修了
養成プログラム修了

笹山 裕樹
瀬戸 有紀彦
小川 晴香

(50 音順敬称略 所属は平成 25 年 3 月 22 日現在)



Pick Up!

第2回 福井 CST シンポジウムを開催しました

2月16日(土)、福井大学文京キャンパスにおいて第2回 福井 CST シンポジウムを開催しました。福井の CST, CST 受講者はもちろんのこと、全国 13 都府県から 90 名をこえる CST および CST 受講者、事業関係者が参加して、各地の取り組みについて情報交換を行いました。福井県内からも CST, CST 受講者の発表があり、日頃の成果を紹介しました。
(この様子は福井新聞、日刊県民福井でも報じられました。)

プログラム

- 13:10 ~ 13:20 開会のごあいさつ
- 13:20 ~ 15:10 講演、福井 CST 養成拠点構築プログラム関連報告
講演「全国学力・学習状況調査から見てくること」
福井大学教育地域科学部 附属教育実践センター 准教授 岸 俊行 先生
福井県におけるサイエンス教育の取組、上級 CST の取組、CST 受講者の取組 ほかを報告
- 15:10 ~ 16:10 ポスター発表
【東京都 CST】 お茶の水女子大学による CST 事業の概要
【神奈川県 CST】 神奈川 CST プラン これまでの成果と今後の展開
【岐阜県 CST】 岐阜 CST 中級・上級養成コースの研修活動の成果と課題
【三重県 CST】 三重県における CST 養成プログラムの取組について
【大阪府 CST】 大阪府における CST 養成プログラムの現在
【岡山県 CST】 岡山 CST 養成プログラムが実施する講座とその特色
【高知県 CST】 高知 CST 養成プログラムの取組み
【長崎県 CST】 ICT 教材開発ツール・マッピングプラザ～ CST 活動による ICT 教材開発
- 16:20 ~ 17:50 口頭発表
【山梨県 CST】 山梨県における CST 養成事業の現状と課題について
【香川県 CST】 香川 CST 事業の成果と課題
【愛知県 CST】 あいち CST 事業の展開～現職教員の CST 養成と CST 活動～
【大阪府 CST】 大阪府における CST 養成プログラムの現在
【高知県 CST】 高知 CST 活動の成果と課題
【長崎県 CST】 先端科学を取り入れた小学校における授業実践とその評価
- 17:50 ~ 18:00 閉会のごあいさつ



【福井県 CST】

- ・自然再生の教材化
- ・小学校教員の CST 活動—小学校の理科を充実させることをねらった実践からの考察
- ・福井の子どもたちは理科をどう思っているか
- ・連携を活かした小学校の CST 活動
- ・地域の自然教材を生かした野外観察学習会の実践
- ・地域支援拠点における実践
- ・デジタル教科書作成と効果的な利用法の研究
—ICT チームの研究より
- ・地域の施設を利用した授業づくり
- ・小中学生の科学的語彙の習得と活用に関する調査
- ・理科授業での電子黒板の活用法
- ・福井中級 CST 養成プログラム出取り組んだこと
- ・理科授業における iPad の活用とその環境について
—iPad の活用の可能性とその環境設定についての課題を探る



受講者だより

「理数系教員養成構築プログラム 成果報告会および CST の集い」

2013.3.8 ~ 3.9

JST 東京本部

JST・お茶の水女子大学の共催で、本年度支援が終了する平成 21 年度採択企画(7 都県)の成果報告会と全国 CST の集いが開催され、福井県から大学関係者 2 名、教育委員会関係者 2 名、現職教員 CST 2 名、学部生 2 名の計 8 名が参加しました。

参加しての感想

今回のシンポジウムでは、ポスター発表を担当したが、その中で全国の CST 関係者と情報交換を行うことができ、とても有意義であった。また、後半のグループ討議においても情報交換を行う機会があり、福井の CST プログラムは他県からも注目されている制度であると感じ取った。討議の中では、多くの課題も提示されたが、それぞれの CST としての立場や思い、実状を知るよい機会ともなった。
(上級 CST)

今後 CST として活かしたいこと

今回、全国の CST 事業の状況や福井大学との違いを知り、多くの刺激を受けることができました。特に、各大学の CST 事業に関するポスター発表では、直接事業について詳しい話を聞くことができ、工夫していることや今後の展開について参考になる点が多く、また現場の教職員、教育委員会、大学教授それぞれの立場からの議論に参加したことは自身の活動について振り返るきっかけとなりました。今後 CST としての知識、技能を高め、この人なら任せられるという存在になれるよう努めていきたいと思います。
(初級 CST)

Info 平成 25 年 4 月以降のお知らせ

平成 25 年度 福井 CST 養成プログラム 受講者 募集



上級 CST 養成プログラム

応募資格

- ① 小学校教諭または中学校理科担当教諭であって、実務経験が 7 年以上(専修免許取得者または初級・中級 CST 認定者は 5 年以上)ある者
- ② 勤務時間外を中心とした 1 ~ 2 年間のプログラムに参加を希望する者
- ③ CST 資格取得の後、上級 CST として活動する意志がある者

募集日程

応募期間：平成 25 年 3 月 21 日(木) ~ 5 月 7 日(火)
面接日：平成 25 年 5 月 11 日(土)(予定)
今年度より 1 回の募集に変更となりました。8 月募集はございませんのでご注意ください。

必要書類

- (フォーマットを Web サイトからダウンロードできます)
- ・申込書
 - ・履歴書
 - ・志望理由書(様式自由)
 - ・最近 2 年間の理科関連活動実績一覧 (活動実績に応じた取得ポイント減免の際、資料として利用させていただきます)

中級 CST 養成プログラム

募集日程

福井大学大学院入学後に詳しい説明会(4/5 15:10 ~)があります。
応募期間：平成 25 年 4 月 8 日(月) ~ 5 月 7 日(火)
面接日：平成 25 年 5 月 11 日(土)(予定)

応募に関する詳細は Web サイトをご覧ください。

CST News Report No. 12

2013.3.25 発行

編集・発行・印刷

福井大学 CST 企画運営事務局

〒910-8507 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号

☎ 0776-27-9928 ☒ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp

🏠 <http://www.cst-fukui.net/>



本プログラムは、(独)科学技術振興機構の支援のもと実施しています。